

今回は、先日実施された校則見直し委員会の様子についてお知らせします。

校則見直し委員会とは、子どもたちが

- 「① 自分たちの学校のきまりを知る」
- 「② なぜその決まりがあるのかを考える」
- 「③ 必要に応じてきまりを修正する」



ことを通して**学校のきまりについて考え、みんなが安全に気持ちよく生活・勉強できるように、自分たちできまりを守っていくようにする会議**です。

各学級から出された校則についての意見をまとめ、代表児童約20人と大人（PTA、学校評議員など）で会議を開きました。大きく4点についていろんな意見が出されました。今回決まったきまりは**来年度から**使います。

## ①筆箱について

「みんないろいろな筆箱をもってきているので、筆箱のルールを決めよう」

○会議中に出された意見

- ・学習に必要なもの以外は、学校に持ってこないでよい。
- ・まずは道具の準備や整理整頓を身につけることが大切なので、低学年は箱形がよい。
- ・中身も必要なものだけを選ぶ方がよい。
- ・筆箱は大切に使う。

○結果

勉強の邪魔になったり、遊び道具になったりするような必要のない形、飾りのある筆箱を持ってこない。低学年は箱形の筆箱を推奨し、中学年以上は学習にふさわしいものを各家庭で判断する。

## ②防寒着について

「寒い日は学校に着いた後も、手袋やネックウォーマーを使えるようにしたい」

○会議中に出された意見

- ・寒い日の縦割り班活動、体育などでは必要。
- ・マフラーは長いので物にひっかかったりして危ない。使わない方がよい。
- ・校舎内は暖房が入るので、いらない。
- ・他の人からネックウォーマーを引っぱられると危ない。手袋ははずるので、遊具遊びの時は使わないほうがよい。
- ・暖かくなると脱いでしまうので、落とし物が増えてしまう。必ず名前を書いておく。

○結果

登校した後も校舎外の活動では、ネックウォーマー・手袋を使ってよい。ただし、安全面に気をつけ、活動や遊びの内容次第では使わない。他の人のネックウォーマーをさわらない。

## ③髪ゴムについて

「飾りのついた髪ゴムをつけてもいいのではないかな」

○会議中に出された意見

- ・学習に必要なもの以外は、学校に持ってこない。
- ・固い飾りがついていると遊びや体育などの時に危ない。
- ・今のきまりについて、特に反対はない。

○結果

今の決まりのまま、華美ではないUがた細ヘアピン、スリーピン、髪ゴムでとめる。

## ④水筒の中身について

「水筒の中身のルールをつくろう。熱中症防止のためにスポーツドリンクを入れていいようにしたい」

○会議中に出された意見

- ・熱中症予防のためにはスポーツドリンクもよい。
- ・スポーツドリンクは水筒の内側と反応して体に悪い成分となったり、糖分の取りすぎになったりするので、きちんと管理しないとイケない。
- ・ルールをきちんと決めておいた方がわかりやすい。
- ・スポーツドリンクは糖分が多い。
- ・体調などもあるので、その時に応じて判断したい。

○結果

ルール（きまり）には明記しない。水筒の中身はお茶類を推奨する。ただし、天候や体調によっては家庭で判断し、薄めたスポーツドリンクでもよい。ジュース類は入れてこない。